

令和6年全国家計構造調査

～ 総世帯の所得及び家計資産・負債に関する結果（香川県）～

総務省統計局から令和8年8月28日に公表された令和6年全国家計構造調査の香川県分の確報集計から、結果をまとめたものです。

<1 所得について>

年間収入は546.6万円。2019年と比較して、1.5%増加。

総世帯の1世帯当たり2024年^{※1}の年間収入は546.6万円であった。2019年^{※2}と比較すると、1.5%の増加となっている。

内訳をみると、「勤め先収入」が360.2万円、「公的年金・恩給給付」が104.5万円、「事業・内職収入」が50.2万円などとなっている。（図1、表1）

※1 2023年11月から2024年10月までの収入（税込）

※2 2018年11月から2019年10月までの収入（税込）

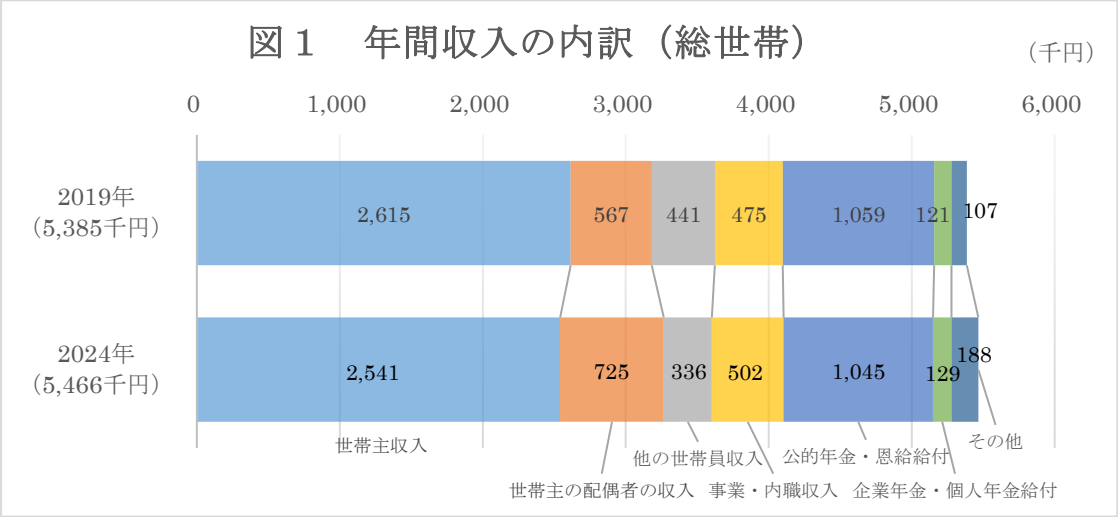


表1 年間収入の内訳及び構成割合（総世帯）

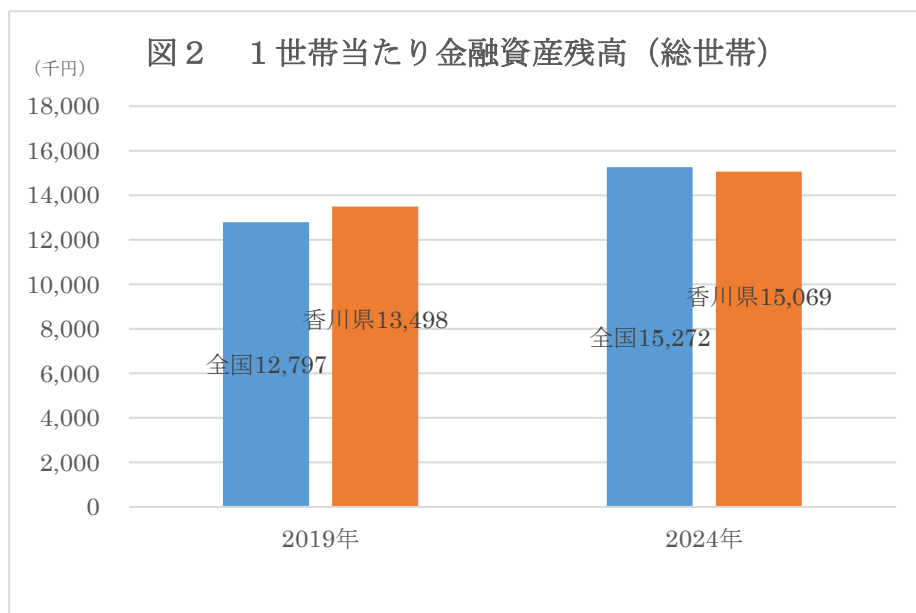
項目	2019年		2024年	
	実数	構成比(%)	実数	構成比(%)
世帯主の平均年齢（歳）	58.9	-	58.7	-
平均世帯人員（人）	2.34	-	2.23	-
年間収入（千円）	5,385	100.0	5,466	100.0
勤め先収入	3,622	67.3	3,602	65.9
世帯主収入	2,615	48.6	2,541	46.5
世帯主の配偶者の収入	567	10.5	725	13.3
他の世帯員収入	441	8.2	336	6.1
事業・内職収入	475	8.8	502	9.2
利子・配当金	20	0.4	33	0.6
公的年金・恩給給付	1,059	19.7	1,045	19.1
社会保障給付金（公的年金・恩給以外）	37	0.7	83	1.5
企業年金・個人年金給付	121	2.2	129	2.4
仕送り金	31	0.6	29	0.5
その他の収入	10	0.2	6	0.1
現物収入	10	0.2	36	0.7

<2 金融資産残高について>

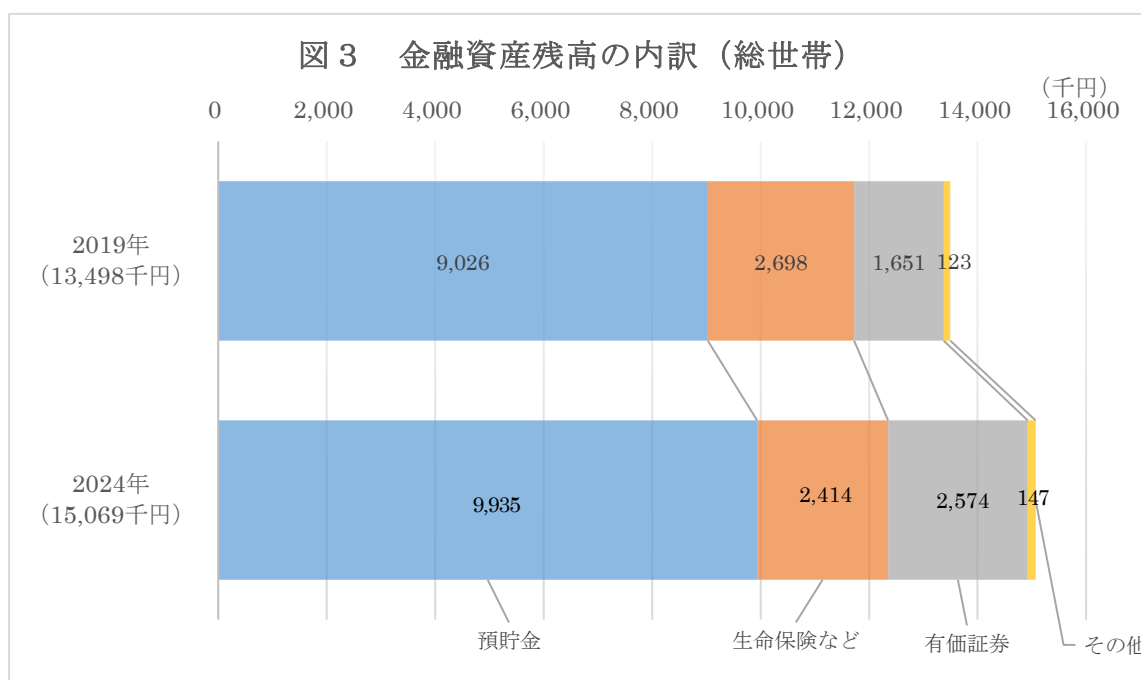
金融資産残高は、1,506.9万円。2019年と比較して、11.6%の増加。

総世帯の1世帯当たり2024年10月末日現在の金融資産残高※¹（貯蓄現在高）は、1,506.9万円であった。2019年10月末日現在と比較すると11.6%の増加となったものの、全国平均を下回っている。（図2）

※1 「金融資産を保有していない世帯」を含む平均



総世帯の1世帯当たり2024年10月末日現在の金融資産残高（貯蓄現在高）の内訳をみると、「預貯金」は993.5万円、「生命保険など」は241.4万円、「有価証券」は257.4万円、「その他」は14.7万円となっており、特に「有価証券」の残高が増加している。（図3）

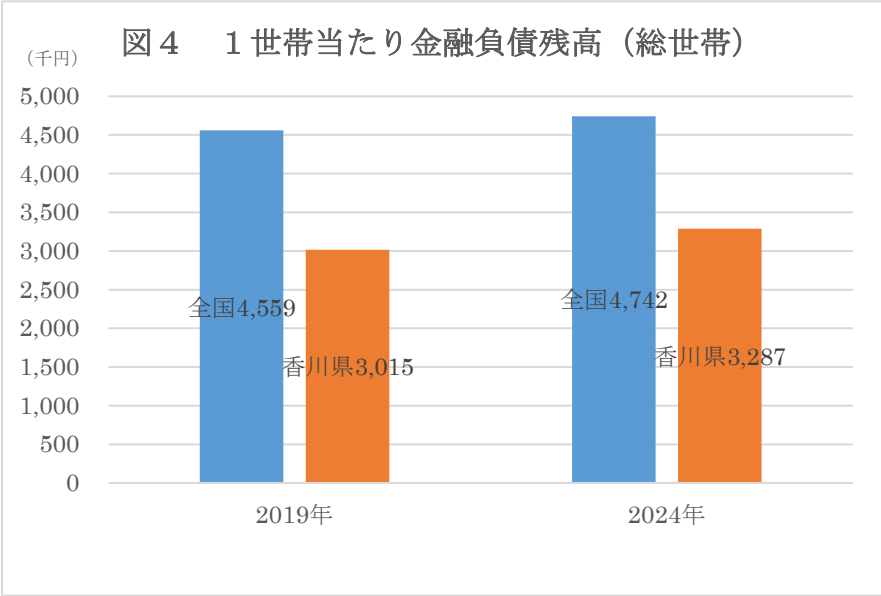


<3 金融負債残高について>

金融負債残高は、328.7 万円。2019 年と比較して、9.0%の増加。

総世帯の1世帯当たり 2024 年 10 月末日現在の金融負債残高※¹は、328.7 万円であった。2019 年 10 月末日現在と比較すると 9.0%の増加となっている。(図 4)

※1 「金融負債を保有していない世帯」を含む平均



総世帯の1世帯当たり 2024 年 10 月末日現在の金融負債残高のうち「住宅・土地のための負債」は283.6 万円となっており、金融負債残高の 86.3%を占めている。

負債保有率（負債を保有している世帯の割合）は 31.6%で、2019 年 10 月末日現在と比較すると、0.6 ポイントの増加となっている。うち、住宅・土地のための負債を保有している世帯の割合は 18.1%で、2019 年 10 月末日現在と比較すると、0.6 ポイントの増加となっている。(表 2)

表 2 金融負債残高及び負債保有率（総世帯）

	金融負債残高				金融負債残高に 占める 住宅・土地 のための 負債割合（%）	負債保有率 （%）	うち 住宅・土地 のための負債 保有率（%）
	金融負債残高 （千円）	増減率 （%）	うち 住宅・土地の ための負債 （千円）	増減率 （%）			
2019年	3,015	-	2,632	-	87.3	31.0	17.5
2024年	3,287	9.0	2,836	7.8	86.3	31.6	18.1

<4 家計資産について>

純資産総額は2,502.9万円。2019年と比較して6.7%増加。

総世帯の1世帯当たり2024年10月末日現在の純資産総額^{※1}は、1世帯当たり2,502.9万円であった。2019年10月末日現在と比較すると、6.7%の増加となっている。(表3)

内訳をみると、「純金融資産(貯蓄－負債)」が1,178.3万円(純資産総額に占める割合47.1%)で最も多く、次いで「宅地資産」が884.5万円(同35.3%)、「住宅資産」が440.0万円(同17.6%)となっている。(図5)

※1 「純金融資産(貯蓄－負債)」と「住宅・宅地資産」の合計

表3 純資産総額の内訳及び構成割合(総世帯)

項目	2019年		2024年		増減率(%)	構成比 上昇・低下幅 (ポイント)
	実数(千円)	構成比(%)	実数(千円)	構成比(%)		
純資産総額	23,449	100.0	25,029	100.0	6.7	-
純金融資産(貯蓄－負債)	10,483	44.7	11,783	47.1	12.4	2.4
金融資産残高(貯蓄現在高)	13,498	-	15,069	-	11.6	-
金融負債残高	3,015	-	3,287	-	9.0	-
住宅・宅地資産	12,966	55.3	13,246	52.9	2.2	-2.4
宅地資産	9,112	38.9	8,845	35.3	-2.9	-3.6
住宅資産	3,853	16.4	4,400	17.6	14.2	1.2
(再掲) 現住居・居住地	10,603	45.2	10,605	42.4	0.0	-2.8
宅地資産	7,292	31.1	6,848	27.4	-6.1	-3.7
住宅資産	3,311	14.1	3,756	15.0	13.4	0.9
(再掲) 現住居・居住地以外	2,362	10.1	2,641	10.6	11.8	0.5
宅地資産	1,820	7.8	1,997	8.0	9.7	0.2
住宅資産	542	2.3	644	2.6	18.8	0.3

図5 純資産総額の内訳(総世帯)

